

(仮称) 新三宮図書館基本計画 ー概要版ー

1. 現在の三宮図書館

- ・延床面積 606 m²(地域図書館で最小)
- ・蔵書冊数 8 万 5 千冊(地域図書館で最少)
- ・来館者は地域図書館最多の 58 万人
- ・中央区以外の利用者が 6 割
- ・利用者の満足度は低い傾向

2. 市民ニーズ

把握方法 利用者アンケート、上位計画の
パブリックコメント、ネットアンケート

- ・規模を大きく、居心地良くしてほしい
- ・読書に集中できる環境や、調べものに使う
座席がほしい
- ・専門図書や神戸を紹介する資料が必要

3.(仮称)新三宮図書館整備検討会の意見

(1)利用者層と立地環境特性

- ・立地特性を活かして、多世代の人たちが
利用できる場所にしてほしい

(2) 求められる空間・設備

- ・付加価値のある空間を
- ・賑わいも許容するならば、逆に静かに
本を読めるところも作るべき

(3) 多様性とアクセシビリティ

- ・多言語・多文化との出会いを図書館で。
- ・近づきやすさという意味から、サインも
含めたアクセシビリティが大切。

(4) バスターミナルやホールとの連携

- ・バスを待つ間に図書館を使ってもらうよ
うなスペースを。
- ・ホールの催しに合わせた特別展示等

(5) コンセプトや基本方針について

- ・様々な施設とつながる情報ステーション

4. 再整備にあたって必要な視点

- (1) 神戸の玄関口に在る意味 …神戸の魅力を改めて発信する場所、神戸のイメージを高める場所
- (2) 読書環境の向上 …今より広い規模で、コーナー作りや座席の設えで上質な読書空間作り
- (3) 近づきやすさ、使いやすさ…初めての人にも外国人等にも入りやすく使いやすい図書館
- (4) つなぐ機能 …中央図書館や類縁機関への案内等、人と情報、類縁機関をつなぐ機能

5. コンセプト・基本方針等

美しい 知と情報のゲートウェイ

- (1) 神戸の玄関口・三宮に、他には無い美しく快適な読書空間をつくります。
- (2) 暮らす人、働く人、学ぶ人に対し、本に限らないデジタルメディアなど最新の
ICT 技術を活用した新たなサービスの提供にチャレンジします。
- (3) 暮らす人、訪れる人に、神戸の歴史と文化、居住場所としての魅力を紹介し、神戸の再発見につなげます。
- (4) 障害者、高齢者、幼い子供連れの方、外国人など多様な人々の図書館利用のアクセシビリティに配慮します。
- (5) 文化芸術情報、地域情報、行政情報など、さまざまな情報を求める利用者を、中央図書館はもとより、博物
館、文書館などの専門機関や市政情報室や大学等につなげます。
- (6) 文化ホールやバスターミナルに近い環境を生かし、新たな利用者層を掘り起こし、街の賑わい創出や回遊性
向上の一助となります。



マルメ市立図書館 (スウェーデン)

6. 必要な規模・機能

- ・開放的で魅力的な空間 (「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目再整備基本計画」より)、また利用者の強い希望である居心地の良い読書空間
- ・東灘図書館 (1,485 m²) 程度の規模は必要

7. 整備スケジュール

- ・平成 30~31 年度
事業計画策定、都市計画・事業計画手続き。事業計画の策定においては、本計画の内容を反映する
- ・平成 32~37 年度頃
従前建物の解体工事、施設整備工事、新三宮図書館オープン (I 期バスターミナル暫定使用開始)